

監視役の議員縛る

衆院議員

辻元清美氏

保護法案 秘密

私はこう見る

6

視が問題になり、裁判で違法判決が出ました。五輪のテロ対策名目で市民への監視が強化されたり、原発情報（いんげい）が隠蔽（いんげい）されたりすることを懸念しています。

自民党の憲法改正草案は国家主義的な色彩が強く、その一つの柱になるのがこの法案だと思います。発想は人権より国家。イラク戦争の時、自衛隊派遣に反対した市民団体への監

国会議員の重要な活動は政府の姿勢を正し、情報を出させること。ところがこの法案概要は、国会に特定秘密を提出する場合は会議を非公開、つまり戦後開かれたことのない「秘密会」にすることを求めているよ

うに読めます。

しかも、特定秘密に触れた議員は守秘義務で縛られ、党内で議論することも専門家に聞くことも出来なくなるかもしれない。議会としてのチェック機能を十分に果たせなくなれば三権分立の意味がなくなり、立憲主義の冒瀆（ぼうとく）と言えます。それなのに、国会議員の関心が低いことも問題です。



つじもと・きよみ

1960年生まれ。96年に初当選。民主党幹事長代理。学生時代に「ピースポート」を創設した。

そもそも、日本には情報公開の法律が整っていない。欧米では公文書は国民の財産であり、米国は25年、英、独は30年経てば政府の情報は原則公開です。そういうルールこそ先にあるべきで、それが無いがしろにされたままこの法案を進めるのは本末転倒。情報が永遠に闇に葬り去られかねません。（聞き手・今村優莉）